

作品展

今まで経験した造形活動をもとにいろんなことができるようになり、幅が広がりました。成長した子ども達の作品を掲載しましたのでご覧ください。
これからもたくさんの経験ができるように楽しい活動を取り入れていこうと思います。

ちゅうりっぷ

普段から生活や遊びの中で色々な物に触れてきました。音や形・色・手触りなどに気づき、遊びを楽しんできた物を作品に残しました。

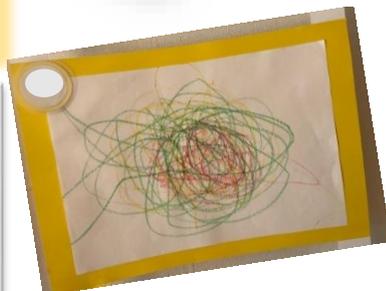
0才児



感触に驚いたり、ちょっとくすぐったかったけど、足型が可愛いたぬきやうさぎに変身しました。



なぐり描きでは、腕をいっぱい動かせるようになりました。



新聞紙についたテープをはがすと、ビリビリ・ペリペリと音が鳴って遊びました。はがすと中から動物や乗り物が登場し、どんどんやりたくなっていた子どもたちです。

タンポで遊びました。
ぽんぽんするとカラフルな模様ができました。



たんぽぽ

つくし

1才になると物を掴んだりクシャクシャと丸めたり、指先を使って掴んだりすることができるようになり感触遊びや様々な素材遊びを繰り返し、楽しんできました。

1才児



様々な感触を感じながら、握る・ちぎる・丸める・つまむ等指先を使って遊びました。カップやスプーンを用意すると、すくったり移し替えたりして楽しんでいました。



キラキラした色の輪っかを用意すると、「ぴかぴか」と嬉しそうに好きな物を選んで紐通ししていました。輪っかに、紐を通すことができると「できた」と喜んでいました。サンタとツリーと靴下でクリスマス気分を、味わっています。



初めは台紙からシールをはがすことができず「やって」とアピールしていた子どもたちも繰り返し遊ぶことで、今ではシールをペタペタ貼るのが大好きです。



4月から大きな紙に描くことを楽しんできました。



クレパスでなぐり描きをしました。白い画用紙に色のついた紙を、貼って仕掛けをしておくと・・・腕や手首を、動かして描いていました。



すみれ

色に興味を持ち好きな色を好んで使うことが増え、形や種類にも関心をもつ年齢です。様々な素材や用具に触れて遊んできました。遊ぶ中で感じたことを言葉や身振りで伝え、伝わったことに喜びを感じている子どもたちです。

2才児

様々な色の細い紙を、ハサミの一回切りでミックスジュースをつくりました。「バナナ(黄色)切ろう」「次はメロン(緑色)」たくさん用意した紙がなくなりそうになるくらい、どんどん意欲的に切っていました。



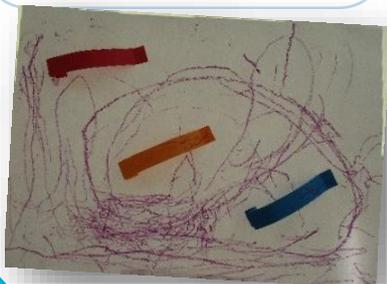
色んな形をしたスポンジを並べる・積む・重ねる・傾けるなど、こだわりながら置いていき、生クリームをかけて色とりどりのトッピング(ポンポン・毛糸)をしていきました。ケーキのでき栄えに皆満足そうでした。



ブーツ・雪だるま・クリスマスツリーの3つの型からと、様々な色の中からひもを選び、ひも通しをした後に、キラキラ折り紙をのりで貼っていました。



仕掛けを貼った紙に好きな色のクレパスを選び、描きました。紙全体を意識して腕を大きく動かし、しっかりした筆圧でのびのびと描いていました。



春から秋にかけてクレパス・えのぐ・コンテ・水性ペンなどを使ってたくさん遊び、楽しむことができました。



お皿に麵をぐるぐると描き、ケチャップ(ソース)をかけてお野菜のせて、ごちそうを作りました。



ばらぐみ

見立てながら造形遊びを楽しむ年齢であり、様々な素材や用具を、使って美味しそうな食べ物を作って遊びました。

3才児

ピザ生地に絵の具のソースを塗り玉ねぎ・ピーマンなどの具材をトッピングし、オーブンで焼いたら出来上がりです。



自分の顔はどんなかな?と話しながら作りました。体には様々な飾り付けして可愛い26人のコックさんが出来上がりました。



様々な形をしたケーキの生地に絵の具のクリームや果物をデコレーションしていききました。子ども達が食べたいケーキ、好きなケーキが沢山出来上がりました。



ハム・キャベツ・ニンジンなどの具材を切り盛り付けた後ドレッシングをかけてサラダの出来上がりです。



経験した事やお話の絵などイメージしたことを描くことができるようになりました。気付いたことや関心をもったことを自分なりに取り入れて表現することを楽しんでいます。



うめぐみ

4才は、自分の興味やイメージを広げながら、描いたり作ったりすることを楽しんでいます。又、ノリやハサミなどの扱いも身につけてきて、周りにある様々な素材や自然物を使って制作活動にも取り組みました。

4才児



みんなで散歩に行ってみつけたどんぐりや木の实、そして身のまわりにある秋の自然物をつかってフレーム作りをしました。「どれにしようか」「どう並べようか」考えながら楽しんで製作しました。



お話の世界「ぐりとぐら」を作りました。ぐりとぐらはトイレットペーパーの芯を使って、森の動物達は画用紙をフリーハンドで切って、動物らしく見えるように毛糸や綿棒などの素材を使って製作しました。

画用紙の平面から立体のものを作っていくのはおずかしく、なんども切り直したり、工夫したりしていたので、「上手にできたね」とおうちの人にほめてもらい、子ども達も満足そうでした。



4才になるとお話の中で、印象に残った事経験した事を絵に表現できるようになります。

又、人物は顔から手や足が出ていた3才児の表現から顔の次に胴の部分が出てくるようになってきます。





色々な素材や用具を使い、自分の感じたことや思いを自由に表現することを楽しんできました。

5才児

1くみ



2くみ



自然物を使ってオブジェを作りました。「ドングリをフクロウにしたいから、シールちょうだい!」「ここ(まつぼっくり)に、赤い実をつけたらかわいい!!」など構成あそびを楽しみました。



自分の体の動きに興味を持ち、「どうしたら描けるの?」とつぶやきが聞かれたことをきっかけに、動く人形を作りました。色々なポーズをして遊んだ後、好きなポーズをデッサンしました。

ゆり

1くみ2くみ

5才児



髪の毛や歯など細かい所まで、ハサミを上手にを使って切り紙を楽しみました。数字を貼る時は、部屋にある時計を見ながら「ここかな？」と貼っていました。



冊子の中身は、1年を通して毎月テーマを決めて折り紙制作に取り組んできました。できあがったもののまわりに描きこむことも楽しみの一つとなっています。表紙は紙版画で仕上げました。



絵本「ポカポカホテル」より
人形作りでは、様々な素材の中から選び「これ目にしよう」「ひげ作りたいたいけど、どうしたらいいかな？」など考えたり友だちと話をしながら、作っていました。

木や枝、きつねは1くみ2くみの共同制作です。



スリッパは好きな布を選んで針と糸でぬいました。



